

# 2010 シーズン安全報告書



2011年6月

奥只見観光株式会社

## 利用者の皆様へ

当社の索道事業につきましては、日頃よりのご利用とご理解を賜り、誠にありがとうございます。

当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

皆様からのご意見、ご感想を頂戴し、輸送の安全確保により一層努めてまいり所存であります。今後とも、当スキー場のご利用を社員一同心よりお待ちしております。

平成 23 年 6 月

奥只見観光株式会社  
代表取締役 亀田正和

### 1. 索道名

- ・奥只見丸山第1ペアリフトA、B線
- ・奥只見丸山第2ペアリフトA、B線
- ・奥只見丸山山頂ペアリフト

### 2. 基本方針と安全目標

#### (1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員に周知、徹底しております。

- ① 一致団結して輸送の安全の確保に努めること。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規定をよく理解するとともに、これを遵守し、忠実に職務を遂行すること。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を把握するよう努めること。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いに努めること。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を行うこと。
- ⑥ 情報は漏れのないよう迅速、正確に伝えること。

⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること。

## (2) 安全目標

当社の索道輸送安全目標は次表のとおりです。

今年度は設備不具合による事故及び人身障害事故の発生はありません。引き続き、目標達成に向けて取り組んでいく所存です。

区 分	項 目	内 容
定量的な目標	設備不具合による事故	乗客の重症以上の重大事故を発生させない。
	人身障害事故	5年間の発生件数を0件とする。

## 3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

### (1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

平成22年度、索道運転事故（索道人身障害事故）はありませんでした。

### (2) 災害（地震や暴風雪、豪雪など）

平成22年度、災害による運行停止はありませんでした。

なお、強風下による安全確保の為の営業開始の遅れ・運行中断がありました。

### (3) インシデント（事故の兆候）

平成22年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

### (4) 行政指導等

平成22年度、行政指導はありません。

## 4. 輸送の安全確保のための取組み

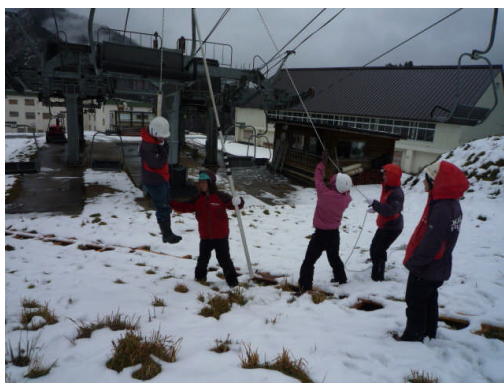
### (1) 人材教育

当社では、輸送の安全確保や皆様の安全に役立つよう、シーズン営業開始前に、係員を対象に施設及び取扱いについての安全教育を実施しました。

### (2) 緊急時対応訓練

当社では、シーズン営業開始前（12月・3月）に索道係員及びパトロール員による救助訓練を実施しました。

冬季救助訓練の状況



春季救助訓練の状況



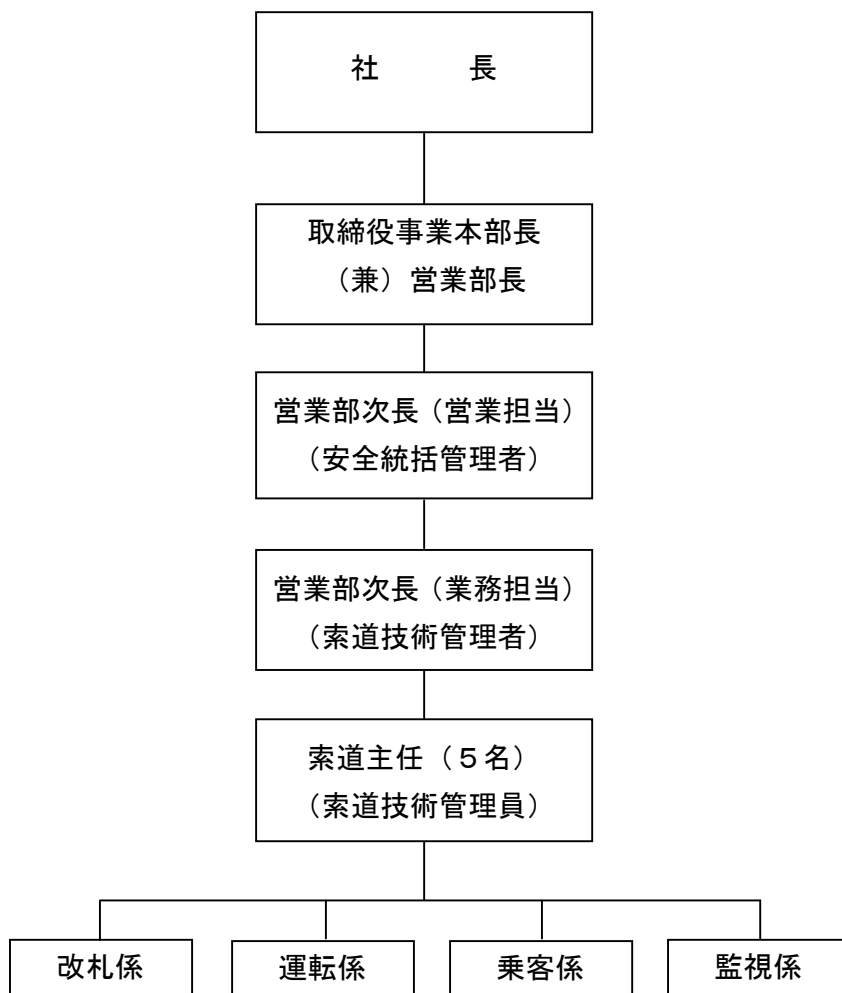
(3) 安全の為の投資と支出

安全の維持・向上のため、長期設備補修計画に基づき、計画的に設備の更新、補修に努めています。

平成22年度の主要機器の更新はありませんが、整備基準による定期検査及び始業点検を行い施設の維持管理に努めております。

## 5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。



社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
取締役事業本部長	輸送の安全を確保するため、索道事業の実施及び管理の体制を整備するとともに、索道事業の実施及び管理の方法を定める。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道全般の運行の管理、索道施設の保守管理、その他の技術上及び係員教育等の事項に関する業務を管理する。
索道主任 (索道技術管理員)	索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行の管理、施設の保守管理、その他の技術上の事項に関する業務を管理する。

## 6. 利用者の皆さまの連携とお願い

(1) 当社では、皆様からお寄せいただいた声を真摯に受け止め、より安全で信頼される索道事業の推進のために役立ててまいります。

(2) リフト乗車時の注意事項

### 【乗車時】

- ① リフト利用に不安な方は、係員にお申し出下さい。
- ② 「乗車位置」でスキー・ボードを正しく前に向けて待機して下さい。
- ③ 乗れなかった場合は直ぐにリフトから離れて下さい。
- ④ ストック等がとなりの人の迷惑にならないように注意して下さい。
- ⑤ リュック等はひざにのせ、衣類等のひもが引っ掛からないように注意して下さい。
- ⑥ スノーボーダーの方は、流れ止めを付け、ハイバックをたたんでご乗車下さい。

### 【乗車中】

- ① 乗車中は搬器を揺らしたり、飛び降りたりしないで下さい。
- ② 乗車中は搬器の上でふざけたり、後ろを向いたりしないで下さい。
- ③ ストック等で柱などに触れないで下さい。

### 【降車時】

- ① 「降り場」が近づいたら降りる準備をし、降りた後はまっすぐ進んで下さい。
- ② リフトから降りられなかったら、そのまま搬器に座っていて下さい。

### 【その他】

- ① リフト係員の指示に従って下さい。
- ② 乗車の際は、係員にリフト乗車券を提示して下さい。
- ③ 不明な点がありましたら係員にお問い合わせ下さい。

## 7. ご意見・お問合せ

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒946-0082  
新潟県魚沼市湯之谷芋川字大鳥 1317-3  
奥只見観光株式会社 奥只見丸山スキー場  
tel 025-795-2750 fax 025-795-2244  
E-mail info@okutadami.co.jp